

第7章 活用の方向性・方法

耳取遺跡では3000年間続いた遺跡の特徴を学ぶための活用を進めると共に、地元市民に生涯学習や健康づくりなどの日常的な利用を推進する。

加えて、空と大地と森に囲まれた独特の空間を活かした観光、交流のための活用を進めることを目指すこととする。

さらに、地域の宝として継承し、魅力を発信していくため、市内の各施設と連携し、情報発信とPRを行う。



写真 7-1 発掘作業体験

第1節 活用の方向性

(1) 史跡の本質的価値を理解できる機会の提供

- ・縄文3時期の集落の内容を分かりやすく伝えるなど、本質的価値を的確に伝え、来訪者に理解してもらう機会を提供する。



写真 7-2 土器の破片接合作業の体験

(2) 将来の担い手育成のための機会の提供

- ・耳取遺跡が将来にわたって保存・活用されるよう担い手となる子ども達や市民に、遺跡に親しんでもらう機会を提供する。

(3) 市民が日常的に訪れられる機会の提供

- ・市民が気軽に訪れ、耳取遺跡を体験して学ぶ場を提供する。
- ・遺跡に加え、周辺にみられる貴重な動植物などの自然環境を活かした自然教育や自然観察会などの機会を提供する。



写真 7-3 現地見学会

(4) 誰もが訪れられる機会の提供

- ・市民とともにさらに県内外の多くの人達が気軽に訪れ、耳取遺跡の縄文的空間に触れて楽しんでもらうため、観光的な利活用を進める。

(5) 情報発信とPR

- ・耳取遺跡の価値や保存活用の取り組みを知ってもらうため、市内外に向けた情報発信とPRを行う。

第2節 学校教育における活用方法

地元文化の継承や将来の担い手育成のため、学校教育との連携を推進し、小学生から大学生までの幅広い活動の場として活用する。

これまで実施した活動は次のようなものがある。

地元小学校が耳取遺跡を調べ総合的な学習の時間のテーマとして、みつけ伝承館での展示見学や現地見学を行い、その学習成果を文化祭の中で地域住民に発表した。

また、地元小学校の全校遠足のコースの中に耳取遺跡を入れて、見学を行った。

市内小中学校の社会科部所属の教員に、耳取遺跡の現地見学を含めた学習会を行った。

- ・学校教育の活用では、小学校、中学校、高等学校のそれぞれに、その興味や理解力に応じて活用を図る。
- ・耳取遺跡を次世代へ継承していくために、小学生には遺跡に興味や親しみを持ってもらうよう活用を図る。中学生や高校生には遺跡について自発的に調べたり、管理運営に興味を持ってもらったりするよう活用を図る。
- ・大学とは、調査・研究で連携を図るとともに、管理・活用については、地質や教育など各分野の学部との連携を検討する。

【活用例】

- ・遠足等での積極的な活用
- ・ガイドによる出張講座
- ・現地での縄文生活体験
- ・史跡の現地見学
- ・発掘調査の見学、体験
- ・研究成果の講義 など

第3節 地域・市民に向けた活用方法

多くの人に日常的に耳取遺跡を訪れてもらい、親しみを持ってもらえるよう、耳取遺跡の学習講座や現地見学ツアーを行い、市内施設での展示会を開催する。



写真 7-4 星空を眺める
(石川県白山市)



写真 7-5 縄文の森の文化祭
(山形県長井市 長者屋敷遺跡)



写真 7-6 勾玉づくり
(福島県須賀川市)

また、散策や健康づくりのコースを設定し、ボランティアガイドなどによる案内・解説を行う。

さらに、スマートウェルネス事業等の各種事業により公民館や地域コミュニティと連携し、より多くの市民が耳取遺跡を活用できる機会を創出する。

【活用例】

- ・縄文ガイドや解説サインによるルート案内・遺跡の解説
- ・みつけ伝承館での遺物展示と現地見学のツアー
- ・散策や健康づくりのコースとしての活用
- ・カタクリなど山野草の観察
- ・森林浴

第4節 観光資源としての活用方法

耳取遺跡を市内外の人々に、全国でも指折りの縄文遺跡であることを広く知ってもらい、多くの人々が訪れるよう誰もが楽しめるイベント等の開催を検討する。

また、耳取遺跡は「空」、「大地」、「森」に囲まれ、人工構造物が視界に入らないことから、縄文時代の風景を想起できる空間である。このような空間構成の史跡は全国でも珍しく、多くの人々が訪れる魅力ある観光資源になり得る。

この自然環境を活かし、縄文時代の暮らしを体験できるプログラムを検討する。

【耳取遺跡の縄文文化に関する活用例】

- ・遺跡周辺の丘陵のウォーキングにより地形を知るイベント
- ・縄文人も見た星空を眺めるナイトハイキング
- ・縄文の森での文化祭
- ・土器づくり体験、勾玉づくり・大珠づくり体験
- ・カラムシによるアンギン織り体験
- ・木の実を使った縄文食の再現

【「空」「大地」「森」をテーマとしたその他の活用例】

- ・「大地」を楽しむキャンプ、バーベキュー
- ・「森」を楽しむ林間アスレチック
- ・「森」を楽しむツリーハウス



写真 7-7 カタクリ (耳取遺跡)



写真 7-8 カラムシ (耳取遺跡)



写真 7-9 アンギン織り
(山形県長井市 長者屋敷遺跡)



写真 7-10 雪上アート
(新潟県十日町市 雪ほたる)

- ・「空」、「大地」、「森」を楽しむ野外音楽祭
- ・「空」、「大地」、「森」を楽しむ野外芸術祭

第5節 情報発信とPR

耳取遺跡の持つ価値魅力を幅広く伝えるために公民館や地域コミュニティと協働で広報活動を行う。

また、みつけ伝承館や市内各施設での情報発信活動を行う。

【具体的手法】

- ・市報、回覧板による市民への啓発
- ・シンポジウム等の開催による市民への啓発
- ・公民館活動などの講座
- ・みつけ伝承館や公民館等での企画展示
- ・市内イベントにおける「耳取遺跡情報コーナー」の設置
- ・インターネットによる広い地域への情報発信

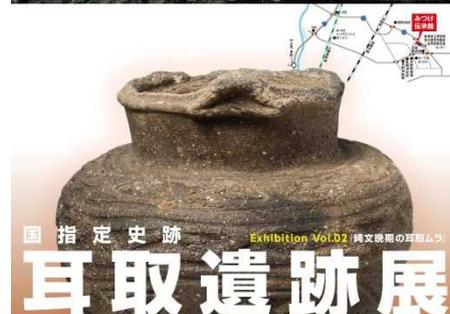


写真 7-11 企画展ポスター（耳取遺跡展）



写真 7-12 耳取遺跡シンポジウム